

作成日 2023年 8月 25日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	1,3-ジフェニルグアニジン 1,3-Diphenylguanidine
製品名	1,3-ジフェニルグアニジン
製品コード	F-019918
SDS整理番号	ZC23013-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	有機ゴム薬品(加硫促進剤)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒
H319 強い眼刺激
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気またはめまいのおそれ
H401 水生生物に毒性
H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに医師に連絡すること。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。つぎにコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

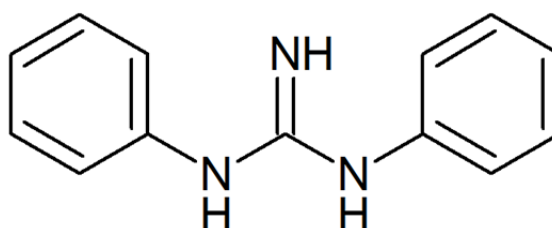
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 P330 口をすすぐこと。
 P337+P313 目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 【保管】
 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。
 【廃棄】
 P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に関係しないまたはGHSで扱
 れない他の危険有害性 情報なし
 重要な徴候および想定される非常事態の
 概要 情報なし

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 単一物質
 化学名または一般名 1,3-ジフェニルグアニジン
 1,3-Diphenylguanidine
 慣用名または別名 N,N'-ジフェニルグアニジン
 CAS番号 102-06-7
 分子式 (分子量) C13H13N3(211.26)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲 98.0 %以上
 官報公示整理番号
 化審法: (3)-480, (3)-2189
 安衛法: 公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合 気分が悪い時には医師の診断/手当てを受けること。
 ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。
 医師の診断/手当てを受けること。
 眼に入った場合 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合には、医師の診断/手当てを受けること。
 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
 医師の診断/手当てを受けること。
 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
 使ってはならない消火剤 棒状放水
 火災時の特有の危険有害性 熱、火花および火災で発火するおそれがある。激しく加熱すると燃焼する。火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生するおそれがある。
 特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 安全に対処できるならば着火源を除去する。
 消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 すべての着火源を取り除く。
 ただちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 密閉された場所に立入る前に換気する。
 環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。
 回収・中和 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込めおよび浄化の方法および機材 二次災害の防止策

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気 安全取扱注意事項	『8. ばく露防止および保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 使用前に取扱説明書を入力すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 飲み込まないこと。 眼に入れないこと。

保管

接触回避	情報なし
技術的対策 混触危険物質 安全な保管条件	特別に技術的対策は必要としない。 情報なし 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	日本産衛学会(2009年版) 未設定(2008年度版)
設備対策	ACGIH(2009年版) 未設定(2008年度版) この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
保護具	呼吸用保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。 手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。 眼、顔面の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。 皮膚および身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体
形状	結晶～粉末
色	無色または白色
臭い	情報なし
融点/凝固点	147～151℃
沸点または初留点および沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	170℃
自然発火点	情報なし
分解温度	170℃
pH	情報なし
粘性率	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
[水]	難溶
[その他の溶剤]	
溶けやすい:	アルコール、アセトン、クロロホルム、熱トルエン、熱ベンゼン
n-オクタノール/水分配係数(log値)	1.69
蒸気圧	0.17kPa(20℃)
密度および/または相対密度(g/ml)	情報なし
相対ガス密度	1.19
粒子特性	情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	情報なし
粉じん爆発下限濃度	情報なし

最小発火エネルギー
体積抵抗率(導電率) 情報なし
情報なし

10. 安定性および反応性

反応性 情報なし
化学的安定性 法規制に従った保管および取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性 燃焼すると分解し、有毒なヒュームを生じる。水溶液は中程度の強さの塩基である。

避けるべき条件 燃焼
混触危険物質 酸化剤
危険有害な分解生成物 二酸化炭素, 一酸化炭素, 窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラットを用いた急性経口毒性試験(OECD TG 401, GLP)のLD50値 107 mg/kg (厚労省報告(Access on September 2008))。
経皮 ウサギを用いた経皮投与試験(Directive 92/69/EEC, B.3, GLP)のLD50値 >2,000 mg/kg (SIDS(draft, 2002))
吸入: ガス GHS定義上の固体であるため、ガスでの吸入は想定されず
吸入: 蒸気 情報なし
吸入: 粉じん および ミスト 情報なし

皮膚腐食性/刺激性 ウサギを用いた24時間皮膚刺激性試験(Draize Test)において「PII: 0、皮膚刺激性はない」(SIDS(draft, 2002))と記述されている。また、ヒトへの影響について「皮膚刺激性なし」(HSDB (2005))との記述がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギを用いた眼刺激性試験(Draize Test)において、20 mg の適用ではPII: 20(最大110)であり7日間で回復、また、100 mg の適用ではPII: 48(最大110)であり21日間で回復する(SIDS(draft, 2002))との記述あり。

呼吸器感作性 情報なし
皮膚感作性 利用可能な情報なし
生殖細胞変異原性 体細胞in vivo変異原性試験のラット骨髄細胞を用いた染色体異常試験(OECD TG475, GLP)で陰性(SIDS-draft(2002))との記述あり。

発がん性 有効に利用できる情報なし
生殖毒性 利用可能な情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) ラットを用いて致死量を求めた急性経口毒性試験(OECD TG 401, GLP)において「雌雄ともにすべての被験物質投与群で投与直後から自発運動低下および側臥位または歩行異常が認められた」(厚労省報告(Access on March 2008))との記述あり。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能な情報なし
誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性
魚類 48h LC50:10 ppm (*Oryzias latipes*)
96h LC50:17 mg/L (*Oryzias latipes*)
甲殻類 48h EC50:8.1 mg/L (*Daphnia m*)
藻類 72h EC50:7.6 mg/L (*Selenastrum capricornutum*)
残留性・分解性 0 % (by BOD), 1.7 % (by TOC), 1.3 % (by UV-VIS)
* 既存化学物質安全性点検による判定結果: 難分解性
生物蓄積性(BCF) 0.4 - 2.0 (conc. 0.1 ppm), 1.0 - 20 (conc. 0.01 ppm)
* 既存化学物質安全性点検による判定結果: 低濃縮性
土壤中の移動性
n-オクタノール・水分配係数 1.69
土壤吸着係数(Koc) 情報なし
ヘンリー定数(PaM³/mol) 情報なし
オゾン層への有害性 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化および中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報:	該当しない
航空規制情報:	該当しない
国連番号	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

-

15. 適用法令

化審法

旧第2種監視化学物質(旧法第2条第5項)【旧番号689 1,3-ジフェニルグアニジン(平成23年4月1日をもって廃止)】

化学物質排出把握管理促進法

第2種指定化学物質(法第2条第3項、施行令第2条別表第2)【56 1,3-ジフェニルグアニジン】

航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

船舶安全法

危規則危険物告示 別表第1 有害性物質

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2925 カロボキシイミド官能化合物(サッカリン及びその塩を含む。)及びイミン官能化合物】

16. その他の情報

主な参考文献

安全データシート "1,3-ジフェニルグアニジン", 職場の安全サイト
2010/02/01 発行版
独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版GHS分類結果(2023.7
更新版)
webデータベース "ezADVANCE"(2023/08/23 アクセス)
ウェブサイト "PubChem"(2023/08/23 アクセス)
安全データシート "1,3-Diphenylguanidine", 東京化成工業株式会社
2023/03/12 改訂版
安全データシート "N,N'-ジフェニルグアニジン", 富士フィルム和光純薬株式
会社 2022/03/23 改訂版
SAFETY DATA SHEET (:1,3-diphenylguanidine), YASHO
INDUSTRIES LIMITED, Revised on 2022/06/10

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴

2023年 8月 25日

作成